

地方創生先行型交付金 評価シート

(その1)

事業名	交流人口拡大に向けた平戸観光振興事業			【事項別明細書 262頁】		
担当課	観光課		実施年度	平成27年度 ～ 平成27年度		
予算科目	7 款 商工費	事業分類	5	魅力ある観光の振興と交流人口の拡大		
	1 項 商工費		1	宝を活かした観光の推進		
	4 目 観光費		34	テーマ観光の推進		
事業費 (千円)		平成26年度決算	平成27年度決算	平成28年度予算		
事業費			50,750			
国県支出金			45,127			
地方債						
その他						
一般財源			5,623			
【事業の目的】						
<p>本市を訪れる観光客は、40代以上の熟年夫婦が多い。公共交通機関が不便な地理的ハンデに加え、老朽化した観光施設が多く、年々、宿泊観光客は減少傾向にある。</p> <p>そこで、宿泊客増に向けた宿泊キャンペーンを実施しながら、宿泊施設のバリアフリー化や観光宣伝ツールの作成等、観光地盤整備を行い、宿泊客の増加に繋げることを目的とする。</p>						

本事業における重要業績評価指標 (KPI)

指標名	本事業における K P I			本事業終了後における実績値	
	単位	指標値	目標年月	実績値	事業効果
宿泊客 対前年度増	人	20,000	平成28年3月	8,288	地方創生に効果があった

事業の実施状況 (DO)

- 観光宣伝ツール作成及び情報発信事業
 - るるぶ平戸特別版 40,000部作成し、JTB九州67支店に設置。
 - 情報誌 e p i 記事広告 (50,000部発行)
 - リスティング広告 (ヤフー及びグーグル) 9,700,065回 (表示)
- 観光資源の磨き上げと旅行商品化事業
 - 宿泊キャンペーン (主に旅行会社対象)

実施期間：平成27年4月～平成28年2月 支援宿泊者数 19,271人
 - 福岡平戸キップGOGOキャンペーン 利用者延べ 503人
 - 電動アシスト自転車購入 5台 (観光案内所へ設置)
- ソーシャルメディアを活用した平戸観光の基盤整備
 - 平戸観光アプリ「EaeyNaviひらどウェルカモメ」機能追加

ARムービー化、平戸検定、市HPとの連携やアンケート機能追加
 - タブレットの購入 13台 (観光案内所へ設置)
- 宿泊施設バリアフリー化補助金
 - 市内の宿泊施設に対し、2/3の500万円限度に補助
 - 4件 (平戸海上ホテル、サムソンホテル、やよい旅館、彩月庵)

(その2)

事業実施による成果(CHECK)

旅行会社との連携だけでなく、ネットを活用した情報発信などを行ったことで、宿泊客増につながった。また、バリアフリー化を進めたことで、イメージアップにつながった。

年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
宿泊客実数	228,233	250,848	254,366	248,048	248,194
平戸地区	195,849	206,874	208,942	196,138	191,659
生月地区	4,880	5,612	4,302	5,914	5,209
田平地区	25,083	35,063	38,092	42,734	47,484
大島地区	2,421	3,299	3,030	3,262	3,842

今後の方針(ACTION)

事業の見直し(改善)

今後の方針の理由(ACTION)

今回の事業により、減少傾向にあった宿泊客も平成27年7月以降は、オリジナル体験企画「平戸で遊ぼう」キャンペーンや、ネットによる観光情報発信と宿泊支援金の相乗効果で増加に転じ、もっとも閑散期にあたる1～2月も対前年比112.7%と大きく伸びた。

また、宿泊施設のバリアフリー化も図ったことにより、リオパラリンピック候補選手の合同合宿誘致も実現したことで、本市の観光をアピールすることができた。さらに、観光情報発信が弱いとの指摘もある中で、大手旅行社とタイアップした旅行雑誌「るるぶ平戸」の制作やSNSによる観光案内ソフトの開発等により観光コンテンツのレベルを上げることができた。

今後は、この観光コンテンツを活用していくが、個人観光客の誘客が課題となっている。そこで平成28年度は、個人客を意識した宿泊キャンペーンや外国人観光客をターゲットにしたSIMカードの導入、観光人材育成等を行い、単なる観光誘客だけでなく、観光地平戸の再構築を図っていく。